

ブラジル株式ファンド

償還 運用報告書（全体版）

第30期（償還）（償還日 2023年5月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「ブラジル株式ファンド」は、信託約款の規定に基づき、2023年5月15日に信託期間が終了し、償還いたしました。
ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、重ねてお礼申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2008年6月16日から2023年5月15日までです。	
運用方針	主として「ブラジル株式アクティブ・マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。	
主要運用対象	ブラジル株式ファンド	「ブラジル株式アクティブ・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル株式アクティブ・マザーファンド	ブラジル企業が発行する金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	ブラジル株式ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ブラジル株式アクティブ・マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

<541028>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ボベスパ指数 (円換算ベース)		株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率		
	円 銭	円	%		%	%	百万円
26期(2021年5月17日)	4,143	0	26.3	56.85	26.1	95.7	1,784
27期(2021年11月15日)	3,553	0	△14.2	49.92	△12.2	96.3	1,464
28期(2022年5月16日)	4,364	0	22.8	61.53	23.3	95.3	1,642
29期(2022年11月15日)	4,728	0	8.3	67.02	8.9	94.4	1,576
(償還時)	(償還価額)						
30期(2023年5月15日)	4,197.38	—	△11.2	67.35	0.5	—	1,148

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ボベスパ指数とは、サンパウロ証券取引所の上場銘柄のうち、流動性の高い銘柄群で構成される、ブラジルを代表する株価指数です。同指数の(円換算ベース)とは、公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2023年5月15日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		ボベスパ指数 (円換算ベース)		株式組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首)	円 銭	%		%	%
2022年11月15日	4,728	—	67.02	—	94.4
11月末	4,624	△2.2	65.49	△2.3	93.8
12月末	4,342	△8.2	61.86	△7.7	94.5
2023年1月末	4,494	△4.9	64.25	△4.1	95.0
2月末	4,395	△7.0	62.24	△7.1	82.9
3月末	4,278	△9.5	61.04	△8.9	66.3
4月末	4,205	△11.1	62.13	△7.3	—
(償還時)	(償還価額)				
2023年5月15日	4,197.38	△11.2	67.35	0.5	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2008年6月16日～2023年5月15日)

設定以来の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円
 期 末 (償還日)：4,197円38銭 (既払分配金 (税込み)：0円)
 騰 落 率：△58.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) ボベスパ指数 (円換算ベース) は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ボベスパ指数 (円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、ブラジル企業の自国通貨建上場株式あるいは他通貨建上場株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・世界的な金融危機が最悪期を脱したこと。
- ・ルセフ大統領の停職や罷免を経て、テメル大統領が就任したこと。
- ・国内のインフレ率が低下し、ブラジル中央銀行が利下げしたこと。
- ・ブラジル政府が成長戦略、大規模な資産売却、民営化プログラムを実施したこと。

<値下がり要因>

- ・米国の大手金融機関の破綻や救済などの金融不安が起こったこと。
- ・インフレ圧力の高まりを背景にブラジル中央銀行が利上げを行なったこと。
- ・世界的な景気後退懸念が高まり、商品市況が下落したこと。
- ・大手国営石油会社を舞台にした汚職事件が懸念されたこと。

投資環境

(株式市況)

期間の初めは、米国の大手金融機関の破綻や救済などの金融不安、世界的な景気後退懸念を背景とする商品市況の下落、インフレ圧力の高まりとブラジル中央銀行による追加利上げに対する懸念などから、下落基調で始まりました。2008年11月以降は、世界的な景気見通しが引き続き悪化する一方で、各国における政策金利の引き下げや金融市場安定化のための追加対策、財政面での景気刺激策などが好感され、反発しました。2010年10月にかけては、世界的な金融危機が最悪期を脱し、投資家のリスク許容度が上がったことなどから外国人投資家の資金流入が加速し、上昇基調が続きました。その後2016年1月にかけては、ブラジルの景気見通しの悪化、インフレ率の上昇とブラジル中央銀行の利上げ、国内財政の悪化に対する懸念や、米国の大手格付け機関によるブラジル国債の格付け見通しの引き下げ、大手国営石油会社を舞台にした汚職事件などを背景に、総じて軟調に推移しました。2016年2月以降は、ルセフ大統領の停職や罷免とテメル大統領の就任、ブラジル国内のインフレ率低下と中央銀行の利下げ、ブラジル政府の景気刺激策や成長戦略案、大規模な資産売却・民営化プログラムの発表などから上昇基調に転じました。その後2020年1月にかけては、ボルソナロ大統領による歳出削減効果のある年金改革法案の成立、税制の簡素化や規制緩和、国有企業の民営化などの構造改革などをプラス材料に好調に推移しました。

2020年2月以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に広がり、経済活動の大幅な停滞が起こったことなどから一時急落する局面はあったものの、世界的に前例のない財政政策や金融政策が実施されたこと、ロックダウン（都市封鎖）の終了や新型コロナウイルスのワクチンの開発などを背景に経済活動が再開したことなどからセンチメントが回復し、市場は大きく反発しました。2021年7月以降、期間末にかけては、インフレ率がブラジル中央銀行の目標値の上限を上回る水準まで上昇し、ブラジル中央銀行が積極的に追加利上げを行なったことに加えて、ルーラ大統領の政権運営に対する懸念が高まったこと、ウクライナ情勢など地政学的リスクの高まりが嫌気されたことなどから総じて軟調に推移しました。

(為替市況)

信託期間中における円／ブラジルリアル相場は、右記の推移となりました。

円／ブラジルリアルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「ブラジル株式アクティブ・マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

当ファンドは2008年6月16日の設定以来、約14年11ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2023年5月15日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(ブラジル株式アクティブ・マザーファンド)

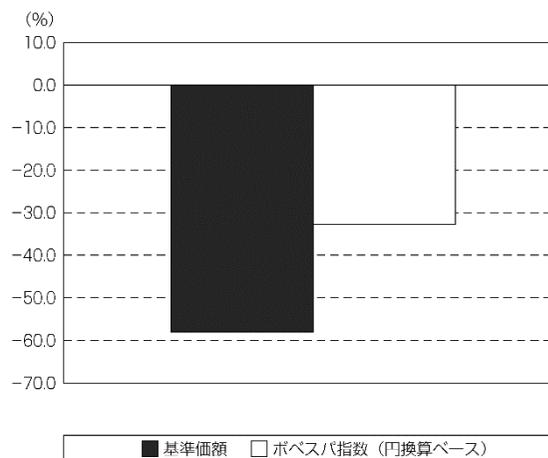
ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）、株価水準、リスク特性、業種比率などを勘案し、ポートフォリオを構築しました。業種については、中長期での成長が期待される情報技術、ブラジルの景気拡大の恩恵を受ける一般消費財・サービス、金融、不動産などを総じて積極姿勢としました。一方で、株価指標面で魅力的な銘柄が乏しいコミュニケーション・サービスや生活必需品などを総じて消極姿勢としました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（設定日比騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベースです。

(注) ボエスパ指数（円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、分配を見送りいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年11月16日～2023年5月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	43	0.982	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.469)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(21)	(0.469)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.144	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.144)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.045	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.045)	
(d) そ の 他 費 用	17	0.384	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(15)	(0.332)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(2)	(0.042)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.008)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	68	1.555	
期中の平均基準価額は、4,389円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

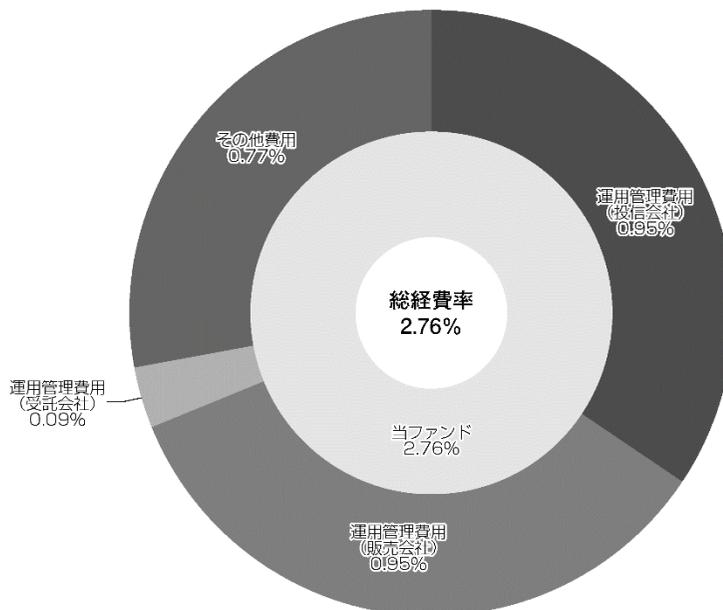
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.76%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ブラジル株式アクティブ・マザーファンド	千口 9,756	千円 6,035	千口 2,485,361	千円 1,377,613

○株式売買比率

(2022年11月16日～2023年5月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ブラジル株式アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,125,109千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,257,570千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.68

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

2023年5月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
ブラジル株式アクティブ・マザーファンド			千口 2,475,604

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項	目	償		還		時	
		評	価	額	比	率	
				千円			%
	コール・ローン等、その他		1,178,841				100.0
	投資信託財産総額		1,178,841				100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2023年5月15日現在)

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	1,178,841,046	
コール・ローン等	1,178,841,046	
(B) 負債	29,914,848	
未払解約金	14,984,527	
未払信託報酬	13,628,899	
未払利息	290	
その他未払費用	1,301,132	
(C) 純資産総額(A-B)	1,148,926,198	
元本	2,737,244,982	
償還差損金	△1,588,318,784	
(D) 受益権総口数	2,737,244,982口	
1万口当たり償還価額(C/D)	4,197円38銭	

(注) 当ファンドの期首元本額は3,335,207,873円、期中追加設定元本額は34,938,018円、期中一部解約元本額は632,900,909円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.419738円です。

(注) 2023年5月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,588,318,784円です。

○損益の状況 (2022年11月16日～2023年5月15日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 5,042	
支払利息	△ 5,042	
(B) 有価証券売買損益	△ 130,036,085	
売買益	25,283,032	
売買損	△ 155,319,117	
(C) 信託報酬等	△ 14,241,938	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 144,283,065	
(E) 前期繰越損益金	56,164,338	
(F) 追加信託差損益金	△1,500,200,057	
(配当等相当額)	(199,753,225)	
(売買損益相当額)	(△1,699,953,282)	
償還差損金(D+E+F)	△1,588,318,784	

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2022年11月16日～2023年5月15日の期間に当ファンドが負担した費用は4,305,638円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2008年6月16日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年5月15日		資産総額	1,178,841,046円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	29,914,848円
				純資産総額	1,148,926,198円
受益権口数	300,000,000口	2,737,244,982口	2,437,244,982口	受益権口数	2,737,244,982口
元本額	300,000,000円	2,737,244,982円	2,437,244,982円	1万口当たり償還金	4,197円38銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	8,631,415,378円	2,996,984,651円	3,472円	0円	0%
第2期	8,920,564,686	4,185,044,315	4,691	0	0
第3期	15,205,899,782	10,407,402,957	6,844	0	0
第4期	19,721,064,639	12,525,776,952	6,351	0	0
第5期	17,767,484,489	11,867,994,437	6,680	0	0
第6期	15,056,859,752	9,090,871,486	6,038	0	0
第7期	13,489,644,957	6,584,850,419	4,881	0	0
第8期	12,280,323,127	5,359,254,029	4,364	0	0
第9期	11,387,253,716	4,762,436,485	4,182	0	0
第10期	10,290,296,078	5,317,181,373	5,167	0	0
第11期	9,745,986,771	4,372,562,876	4,487	0	0
第12期	8,823,531,318	4,101,764,406	4,649	0	0
第13期	7,740,070,249	3,324,134,982	4,295	0	0
第14期	8,132,055,552	3,193,179,063	3,927	0	0
第15期	8,362,163,002	2,182,970,626	2,611	0	0
第16期	8,517,853,577	2,308,533,400	2,710	0	0
第17期	7,430,393,626	2,302,121,859	3,098	0	0
第18期	7,117,259,001	2,902,192,370	4,078	0	0
第19期	6,321,422,885	2,498,407,191	3,952	0	0
第20期	5,691,477,431	2,405,198,633	4,226	0	0
第21期	5,589,677,450	2,389,822,049	4,275	0	0
第22期	5,021,590,358	2,082,726,182	4,148	0	0
第23期	4,803,829,733	2,183,914,398	4,546	0	0
第24期	4,593,118,336	1,115,091,868	2,428	0	0
第25期	4,743,462,449	1,555,979,557	3,280	0	0
第26期	4,307,723,292	1,784,823,472	4,143	0	0
第27期	4,121,964,735	1,464,569,566	3,553	0	0
第28期	3,764,998,651	1,642,944,455	4,364	0	0
第29期	3,335,207,873	1,576,886,647	4,728	0	0

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税込み)	4,197円38銭
------------------	-----------

○お知らせ

約款変更について

2022年11月16日から2023年5月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

ブラジル株式アクティブ・マザーファンド

償還 運用報告書

第15期（償還）（償還日 2023年5月12日）
（2022年5月17日～2023年5月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年6月16日から2023年5月12日までです。
運用方針	ブラジル企業が発行する金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	ブラジル企業が発行する金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

フ ァ ン ド 概 要

主として、ブラジル企業の自国通貨建上場株式あるいは他通貨建上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や各銘柄毎の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ボベスパ指数 (円換算ベース)		株組入比率	純資産額
	円 銭	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
11期(2019年5月15日)	5,061	0.0	57.06	△ 1.6	97.1	2,033
12期(2020年5月15日)	2,970	△41.3	32.80	△42.5	96.8	1,081
13期(2021年5月17日)	5,246	76.6	56.85	73.3	98.1	1,742
14期(2022年5月16日)	5,646	7.6	61.53	8.2	97.5	1,605
(償還時)	(償還価額)					
15期(2023年5月12日)	5,532.62	△ 2.0	66.36	7.8	—	1,150

(注) ボベスパ指数とは、サンパウロ証券取引所の上場銘柄のうち、流動性の高い銘柄群で構成される、ブラジルを代表する株価指数です。同指数の(円換算ベース)とは、公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2023年5月12日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		ボベスパ指数 (円換算ベース)		株組入比率
	円 銭	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首) 2022年5月16日	5,646	—	61.53	—	97.5
5月末	6,142	8.8	67.29	9.4	96.1
6月末	5,410	△ 4.2	59.02	△ 4.1	96.5
7月末	5,500	△ 2.6	59.83	△ 2.8	98.7
8月末	6,216	10.1	67.15	9.1	96.3
9月末	6,044	7.0	64.83	5.4	97.1
10月末	6,711	18.9	71.96	16.9	97.1
11月末	6,052	7.2	65.49	6.4	95.9
12月末	5,683	0.7	61.86	0.5	97.0
2023年1月末	5,899	4.5	64.25	4.4	97.4
2月末	5,775	2.3	62.24	1.2	85.1
3月末	5,627	△ 0.3	61.04	△ 0.8	67.8
4月末	5,537	△ 1.9	62.13	1.0	—
(償還時)	(償還価額)				
2023年5月12日	5,532.62	△ 2.0	66.36	7.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2008年6月16日～2023年5月12日)

基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、償還時に5,532円62銭となり、騰落率は△44.7%となりました。

基準価額の変動要因

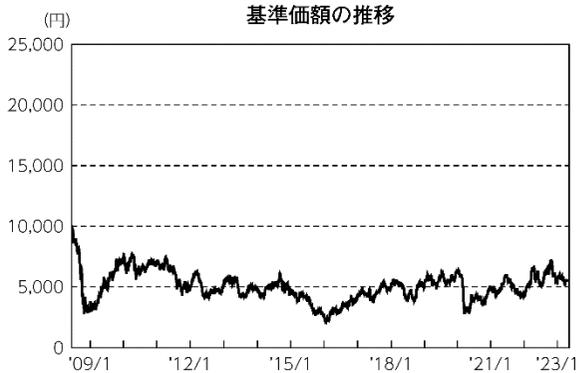
信託期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・世界的な金融危機が最悪期を脱したこと。
- ・ルセフ大統領の停職や罷免を経て、テメル大統領が就任したこと。
- ・国内のインフレ率が低下し、ブラジル中央銀行が利下げしたこと。
- ・ブラジル政府が成長戦略、大規模な資産売却、民営化プログラムを実施したこと。

<値下がり要因>

- ・米国の大手金融機関の破綻や救済などの金融不安が起こったこと。
- ・インフレ圧力の高まりを背景にブラジル中央銀行が利上げを行なったこと。
- ・世界的な景気後退懸念が高まり、商品市況が下落したこと。
- ・大手国営石油会社を舞台にした汚職事件が懸念されたこと。



設定時	信託期間中高値	信託期間中安値	償還時
2008/06/16	2008/06/18	2016/01/22	2023/05/12
10,000円	10,001円	2,117円	5,532円62銭

基準価額（指数化）の推移



ボベスパ指数（円換算ベース）（指数化）の推移



(株式市況)

期間の初めは、米国の大手金融機関の破綻や救済などの金融不安、世界的な景気後退懸念を背景とする商品市況の下落、インフレ圧力の高まりとブラジル中央銀行による追加利上げに対する懸念などから、下落基調で始まりました。2008年11月以降は、世界的な景気見通しが続く悪化する一方で、各国における政策金利の引き下げや金融市場安定化のための追加対策、財政面での景気刺激策などが好感され、反発しました。2010年10月にかけては、世界的な金融危機が最悪期を脱し、投資家のリスク許容度が上がったことなどから外国人投資家の資金流入が加速し、上昇基調が続きました。その後2016年1月にかけては、ブラジルの景気見通しの悪化、インフレ率の上昇とブラジル中央銀行の利上げ、国内財政の悪化に対する懸念や、米国の大手格付け機関によるブラジル国債の格付け見通しの引き下げ、大手国営石油会社を舞台にした汚職事件などを背景に、総じて軟調に推移しました。2016年2月以降は、ルセフ大統領の停職や罷免とテメル大統領の就任、ブラジル国内のインフレ率低下と中央銀行の利下げ、ブラジル政府の景気刺激策や成長戦略案、大規模な資産売却・民営化プログラムの発表などから上昇基調に転じました。その後2020年1月にかけては、ボルソナロ大統領による歳出削減効果のある年金改革法案の成立、税制の簡素化や規制緩和、国有企業の民営化などの構造改革などをプラス材料に好調に推移しました。

2020年2月以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に広がり、経済活動の大幅な停滞が起こったことなどから一時急落する局面はあったものの、世界的に前例のない財政政策や金融政策が実施されたこと、ロックダウン（都市封鎖）の終了や新型コロナウイルスのワクチンの開発などを背景に経済活動が再開したことなどからセンチメントが回復し、市場は大きく反発しました。2021年7月以降、期間末にかけては、インフレ率がブラジル中央銀行の目標値の上限を上回る水準まで上昇し、ブラジル中央銀行が積極的に追加利上げを行なったことに加えて、ルーラ大統領の政権運営に対する懸念が高まったこと、ウクライナ情勢など地政学的リスクの高まりが嫌気されたことなどから総じて軟調に推移しました。

(為替市況)

信託期間中における円／ブラジルレアル相場は、右記の推移となりました。

円／ブラジルレアルの推移



ポートフォリオ

ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）、株価水準、リスク特性、業種比率などを勘案し、ポートフォリオを構築しました。業種については、中長期での成長が期待される情報技術、ブラジルの景気拡大の恩恵を受ける一般消費財・サービス、金融、不動産などを総じて積極姿勢としました。一方で、株価指標面で魅力的な銘柄が乏しいコミュニケーション・サービスや生活必需品などを総じて消極姿勢としました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 5 月17日～2023年 5 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 10 (10)	% 0.175 (0.175)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.055 (0.055)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	41 (41) (1)	0.702 (0.691) (0.011)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	54	0.932	
期中の平均基準価額は、5,883円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2022年 5 月17日～2023年 5 月12日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 —	千アメリカドル —	百株 653	千アメリカドル 169
	ブラジル	11,638 (46)	千ブラジルリアル 25,219 (4)	37,674 (9)	千ブラジルリアル 79,509 (40)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年5月17日～2023年5月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,792,566千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,437,906千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.94

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月17日～2023年5月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年5月17日～2023年5月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年5月12日現在)

2023年5月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国株式

銘 柄	期首(前期末)	
	株	数
(アメリカ)		百株
BANCO BRADESCO-ADR		653
小 計	株	数
	銘 柄	数
		653
		1
(ブラジル)		
AMBEV SA	1,811	
ANIMA HOLDING SA	86	
ATACADAO DISTRIBUICAO COMERC	130	
AZUL SA-PRF	104	
AMERICANAS SA	177	
BANCO BRADESCO S. A.	311	
BANCO DO BRASIL S. A.	642	
BANCO BRADESCO SA-PRF	1,205	
BANCO SANTANDER BRASIL-UNIT	114	
BANCO BTG PACTUAL SA-UNIT	471	
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	1,873	
BRADESPAR SA -PREF	80	
BR MALLS PARTICIPACOES SA	255	
CCR SA	896	
CIA SIDERURGICA NACIONAL	204	
CIA BRASILIERA DE DISTRIBUIC	53	
COSAN SA	200	
CYRELA BRAZIL REALTY SA EMP	91	
ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	55	
CENTRAIS ELETRICAS BRASILIER	111	
CENTRAIS ELETRICAS BRAS-PR B	76	
ENERGISA SA-UNITS	225	
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD	326	
YDUQS PARTICIPACOES SA	111	
EZ TEC EMPREENDIMENTOS E PAR	31	
FLEURY SA	97	

銘 柄	期首(前期末)	
	株	数
(ブラジル)		百株
GERDAU SA-PREF		607
GOL LINHAS AEREAS INT SA-RTS		8
GOL LINHAS AEREAS INT SA-PRE-PRF		48
HAPVIDA PARTICIPACOES E INVE		2,086
IGUATEMI SA - UNITS		53
ITAU UNIBANCO HOLDING S-PREF		1,503
ITAUSA SA-PRF		1,480
KLABIN SA - UNIT		500
LOJAS RENNER S. A.		660
LOCALIZA RENT A CAR		325
MAGAZINE LUIZA SA		980
METALURGICA GERDAU SA-PREF		191
MULTIPLAN EMPREENDIMENTOS		246
PETROBRAS - PETROLEO BRAS		973
PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR		1,558
VIBRA ENERGIA SA		619
PETRO RIO SA		261
REDE D'OR SAO LUIZ SA		165
RUMO SA		865
SENDAS DISTRIBUIDORA SA		249
SUZANO SA		335
TOTVS SA		520
USINAS SIDER MINAS GER-PF A		158
VALE SA		1,206
WEG SA		646
XP INC - BDR		13
小 計	株	数
	銘 柄	数
		25,999
		52
合 計	株	数
	銘 柄	数
		26,652
		53

○投資信託財産の構成

(2023年5月12日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,150,386	100.0
投資信託財産総額	1,150,386	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2023年5月12日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	1,150,386,370
コール・ローン等	1,150,386,370
(B) 負債	5,430
未払利息	1,795
その他未払費用	3,635
(C) 純資産総額(A-B)	1,150,380,940
元本	2,079,269,186
償還差損金	△ 928,888,246
(D) 受益権総口数	2,079,269,186口
1万口当たり償還価額(C/D)	5,532円62銭

(注) 当ファンドの期首元本額は2,844,149,601円、期中追加設定元本額は52,156,439円、期中一部解約元本額は817,036,854円です。

(注) 2023年5月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・ブラジル株式ファンド 2,079,269,186円

(注) 1口当たり純資産額は0.553262円です。

(注) 2023年5月12日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は928,888,246円です。

○損益の状況 (2022年5月17日～2023年5月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	139,293,676
受取配当金	139,303,260
その他収益金	27,029
支払利息	△ 36,613
(B) 有価証券売買損益	△ 124,450,806
売買益	120,064,055
売買損	△ 244,514,861
(C) 保管費用等	△ 10,385,419
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,457,451
(E) 前期繰越損益金	△ 1,238,361,690
(F) 追加信託差損益金	△ 22,311,657
(G) 解約差損益金	327,327,650
償還差損金(D+E+F+G)	△ 928,888,246

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年5月17日から2023年5月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。